港湾振興便り

2020．4

第155号

目　　次

１　ポートエッセイ　　―　緊急事態宣言と外貿コンテナ貨物の荷動き　―

～　日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　中原　八一　～

２　トピック

●苫小牧港とバンクーバー港がLNGバンカリングの促進に向けた覚書を締結

（北海道開発局　港湾計画課）

１　ポートエッセイ　　―　緊急事態宣言と外貿コンテナ貨物の荷動き　―

～　日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　中原　八一　～

≪緊急事態宣言≫

4月7日、安倍首相は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東京都など7都府県を対象に緊急事態宣言を発令した。

これを受け、対象の地域となった都府県知事は不要不急の外出を自粛するよう強く呼びかけるとともに、商業施設や遊興施設などを対象に休業要請した。

緊急事態宣言に合わせて過去最大の108兆円規模の緊急経済対策が決定された。

感染者数は4月14日現在8,000人を超え、増加の一途を辿る状況である。

また、実質国内総生産（GDP）の予測平均は、民間調査によると2020年4～6月期の前期比年率で11.08％減となった。

政府は、感染拡大防止のための行動制限と経済対策を並行して行わなければならない極めて厳しい局面に立たされている。

国民の健康を守るとともに、見通しの立たない国民生活に安心を与えるため、安倍首相の「雇用と生活は断じて守り抜く」との決意のとおり、緊急経済対策が着実に実施されることがまずは求められる。

≪外貿コンテナ貨物の荷動き≫

さて、1月、2月の頃は、「新型コロナウイルス感染症」が日本経済に与える影響は、中国の製造業の再開次第というところがあった。

しかしながら、3月に入ると感染が欧米諸国へと拡大し、人の行動制限が世界各国に及ぶ事態となり、グローバル化する世界経済を繋ぐサプライチェーンが完全に機能しなくなった。世界中の工場が稼働停止に追い込まれ、また物流が滞るなど、世界経済がかつてない深刻な事態となっている。

当然、私たちが関わる国際物流への影響も憂慮せざるを得ない状況である。

3月上旬、会員各位に向けて外貿コンテナ貨物の荷動きについて調査をさせていただいた。ご回答に感謝申し上げる。

1月、2月分のデータを見てみると、実入り輸入では1月、2月ともに15港が、実入り輸出では、1月は12港、2月は9港が前年同月比割れとなっていた。

コンテナ数量では、実入り輸入貨物は1月の95%に対して、2月は88%と更に減少しており、90%未満の港が5港から8港に増えている。

実入り輸出貨物は、1月の92%に対して、2月は97%と増加しており、90%未満が8港から6港と少なくなっているものの、総量では前年比割れの状態は変わらない。

これから集計する3月のデータは、新型コロナウイルスの影響をこれまで以上に大きく受けることが予測される。

新型コロナウイルスへの対応はまだまだ続き、ウイルスとの戦いは世界規模で長期に渡る。この克服は、我々がこれまで経験したことのないものであり、知恵と覚悟を持って取り組んでいく必要がある。

＊：

2 トピック

＊：

●苫小牧港とバンクーバー港がLNGバンカリングの促進に向けた覚書を締結

（北海道開発局　港湾計画課）

アジア側の最東端に位置する苫小牧港は、フェリーやRORO船等の中長距離定期航路が週120便ほど就航しており、海上取扱貨物量が国内4位である北日本最大の国際拠点港湾です。

一方、北米西岸の最西端に位置するカナダ・バンクーバー港は、フェリーやRORO船、自動車専用船等が就航しており、海上取扱貨物量が北米3位であるカナダ最大の港湾です。

両港がそれぞれLNGバンカリングに関する取組を推進しているところ、両港間で積極的にLNGバンカリングに関する情報交換等の連携を行うことで、両港の内航船舶及びアジアと北米を結ぶ太平洋を横断する国際船舶のLNG燃料の更なる普及促進を図り、IMO（国際海事機関）による排出ガス規制の強化や温室効果ガス（GHG）削減等への貢献を目指すべく、このたび、苫小牧港管理組合とバンクーバー港湾局が船舶のLNG燃料の普及及びLNGバンカリングの促進に関する覚書を締結しました。

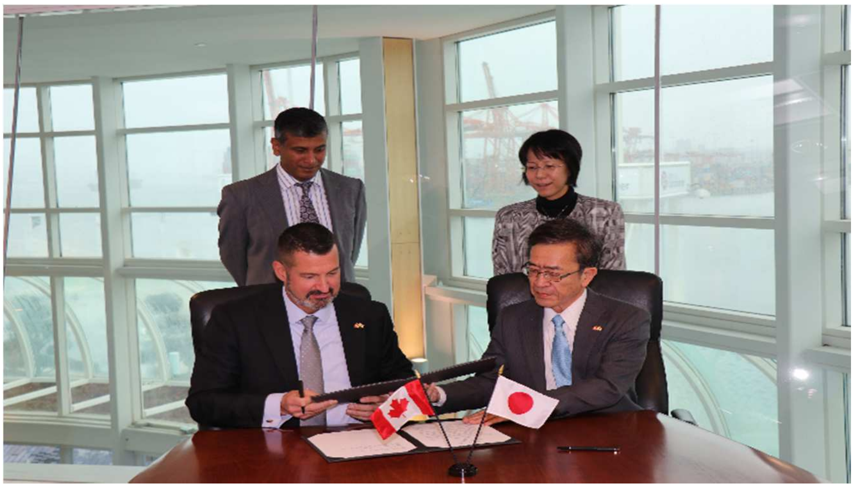
今回の覚書締結に基づく両港の連携に加え、今後は、LNGバンカリングをはじめとする環境負荷軽減の取組みにおける港湾連携の具体的内容として、フェリー、RORO船、コンテナ船等の内航海運

業界やターミナル事業者等苫小牧港の海事関係者や、苫小牧港近郊をはじめとする国内でのLNG供給のみならず海外でもLNG取扱いを含む事業活動を営む石油資源開発株式会社(JAPEX)等、関係する民間企業ベースの情報交換と活発な交流が進展することで、苫小牧港の取組みがリードする形で国内各地で環境にやさしい港湾拠点形成が進むことを期待するものです。

※LNGバンカリングとは、船舶へのLNG(液化天然ガス)燃料供給のことです。

【締 結 日】　令和2年3月5日
【署名場所】　バンクーバー港湾局
【署 名 者】　苫小牧港管理組合　管理者　岩倉　博文
（代理：専任副管理者　佐々木　秀郎）
バンクーバー港湾局　管理者　ロビン　シルベスター
（代理：副管理者　ダンカン　ウィルソン）

＊署名式には、ファジル　ミラー　カナダ　ブリティッシュコロンビア州雇用・貿易・技術副大臣、多田雅代　在バンクーバー日本国総領事館副総領事も同席されました。



署名式の様子
（前方左:バンクーバー港湾局　ウィルソン副管理者、前方右:苫小牧港管理組合　佐々木専任副管理者、後方左:ブリティッシュコロンビア州　ミラー副大臣、後方右:在バンクーバー日本国領事館　多田副総領事）

＊:＊:＊: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 :＊:＊:＊＊:＊:＊:
日本港湾振興団体連合会事務局
〒105-0002 港区愛宕１－３－４
TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631
e-mail:bcf06323@nifty.com
＊: